

学校だより



平成十八年度 十一月号
発行京都市立桃陽総合養護学校
平成十八年十一月八日

嵐山もみじ祭(十一月の第二日曜日)
天下の名勝と謳われる嵐山 小倉山のもみじの美しさを讃え、辺り一帯を守護する嵐山蔵王権現に感謝する行事。渡月橋上流の大堰川に浮かべた色とりどりの船上舞台で、嵐山にゆかりの深い多くの史跡や文化、芸能の優雅な絵巻模様を再現、紹介する。

学習発表会

中学部



今年も、総合的な学習の時間に取り組んでいる内容を中心に発表します。「伝統文化にふれよう」では、華道、茶道、和太鼓に、今年は大道芸を加えました。皿回しに挑戦。難しかったですが、なんとか披露できるまでに上達してきました。バケツ回し。何度も失敗して頭から水をかぶって廊下は水浸しになることも何度か。おかげで廊下は綺麗になりましたが……。これら以外にも楽しい出し物があります。そして毎週取り組んでいる合唱。今年生徒数が少なく、練習スタート時にはどうなるのかと心配しましたが、日を重ねる毎に大きな声が出せるようになっていきました。休み時間や登下校時に口ずさんでいる生徒もいます。みんなの心は一つになっています。

そしてもう一つ、部活で取り組んでいるバンド演奏。放課後には、校舎の端にある音楽室から、演奏と声が全校に響き渡っています。さて当日の出来映えはどうでしょうか



みんなで力を合わせた学習発表会

第二赤十字病院分教室

さわやかな秋晴れが続き、第二赤十字病院の前にある釜座通りの並木道もほんのり色づいてきました。

今回は学習発表会に向けた子ども達の取組の様子を紹介します。小学部では、パネルシアター「ねこのお医者さん」に挑戦しました。人形の動きや歌の振付など子ども自身が工夫しながら、それぞれのキャラクターになりきって演じることができました。パネルシアターの練習風景をみた小児病棟のお友達が、「すごい！」と喜んでいる様子を見て、演じた子どもは照れながらもうれしそうな笑顔を見せていました。中学部は第二赤

十字病院分教室の紹介プレゼンテーションに取組みました。病院内の施設や病院の周りの建物を撮影に行ったり、原稿を自分で構成したりしながら、子ども達手作りのプレゼンテーションビデオを作りあげることができました。また、小・中

学部みんなの力を合わせて、ミュージックベルで「星に願いを」という曲を演奏しました。介護等体験のお兄さんも参加して下さい、合計七人、十四音で一曲を仕



上げました。最初は、音と音が途切れてしまったり、タイミングが合わなかった

りする場面もありましたが、練習を重ねるうちに、ミュージックベルの奏でる美しいメロディが教室いっぱいに広がりました。

楽しみなながら、仲良く友達同士や小中間での連携がとれた学習発表会にむけての取組になりました。

大きなおイモが出てきたよ

国立病院分教室

十月十七日(火)に、分教室の遠足で、勸修寺観光農園へ「芋掘り」に行ってきました。秋晴れの良いお天気のもとで、いろいろな大きさの「サツマイモ」を掘り当ててとって来ました。

K君は最初、農園で貸してもらった移植ゴテを使って掘っていたのですが、もどかしくなって手で掘り出しました。そのあとますます勇敢になって、鍬を使って掘りました。そうすると、ツルに連なったサツマイモがゴロゴロ出て来ました。なかには大きさのものもあり、かなり重いものもあり

ました。
N君はイモのツルをしつかりと引張って収穫していました。土の中から出てきたおイモの顔をなでてもとても満足そうでした。

このあと収穫した「イモ」をふかして、みんな食べようとっています。楽しい「芋掘り」のひと時でした。



運動会

府立医大分教室

十月十九日(水)二十日(木)に病棟で運動会が開かれました。

D3病棟では、玉入れ競争、座布団競争、空き缶積み競争が行われました。お母さんもつなひきを楽しんでおられました。看護学校の学生さんもいっしょに参加しての楽しいひと時でした。

次の日、今度はこども6号の病棟の運動会が行われました。だるま引き競争、玉入れ競争、親子パン食い競争が行われました。最後はみんなでクス玉割りをしました。ドクターや医学部の学生さんも参加してのパン食い競争は楽しかったです。どちらの運動会にも分教室からの出し物として、ペットボトルのピンを使ったボーリングを行いました。参加賞のメダル作りはD3、こども6号の病棟以外のお友達と介護等体験の学生さ

んが作ってくれました。ペ
ットボトルのピンは介護等
体験の学生さんにアクリル
絵の具でかわいい絵を描い
てもらったものです。みん
な楽しめた運動会は大成功
でした。

老人赤いふでの活動

小学部

年二回の交流会で春と秋
に実施しています。今回は、
二回目子ども達も少し慣
れて張り切っています。六
年生の司会進行が始まりま
した。オープニング曲は「世
界がひとつになるまで」を
みんなで元気一杯歌いま
した。続いてリコーダでの

二重奏で「どんび」を演奏
しました。みんな真剣な顔
をして演奏していました。
そして、次に歌う曲はおじ
いさんやおばあさんのよく
知っている曲「ふるさと」
や「青い山脈」を一緒に歌
いました。おじさんやおば
あさんも楽しく歌ってとて
も和やかなひと時でした。
最後に子ども達が学習発表
会に向けて練習に取り組ん
でいる和太鼓「かがり火太
鼓」を披露しました。子ど
も達は始めは少し緊張して
いましたが、太鼓を叩いて
行くうちに慣れたのか、最
後まで力強く「かがり火太
鼓」を叩いていました。終
わった後は、とてもすがす
がしい顔でした。練習の成
果は十分発揮できたと思い
ます。おじいちゃんやおば
あちゃんにとつても、また、
子ども達にとつてもとても
有意義なひと時となりました。



秋のひととき・・・

京大病院分教室

秋日よりの毎日が続いて



います。ひんやりとした空
気がいつの間にか、晩秋の
気配を運んで、いろいろな
ことに落ち着いて取り組め
る良い季節です。分教室の
子供たちも、治療や検査の
毎日の中、体調が許せば週
末には外泊を許されること
があり、つかの間の家族と
のふれあいや自宅で季節の
空気を楽しんでいます。
これは、小学部の子供たち
の休み時間の様子です。介
護等体験でこられた学生さ
んと一緒にゲームを楽しん
でいます。外来でたずねて
きた友達も一緒に、にぎや
かに過ごしています。遊び



をすると久しぶりに会った子供たちもすぐに仲良しになります。

次はさをり織りに取り組んでいる様子です。どの作品も、世界でただひとつのオリジナル。教室に登校した時間の中で許された時間に好きな色の糸を選んで少しずつ織り続けています。出来上がりが楽しみです。

京大病院看護フェアに参加した分教室の作品の様子です。さをり織りや子供たちの作品をフェアに売られたいみなさまに見ていただきました。入院しながらいろいろなことに取り組んでいる子供たちの作品や様子を、たくさんの方から関心が寄

せられました。

分教室では、これからも子供たちの体調に合わせながら、いろいろな催しや活動に取り組んで生きたいと思っています。



「がんばってますー！」
訪問教室

朝晩は涼しく秋らしい毎日ながら、日中はまだまだ暑い日もあり、体調をくずしやすい時期です。食欲の秋を満喫しながら、体力アップしてゆきたいものです。訪問教育では、一人ひとりが本格的な秋の訪れを待ちわびながら、日々前向きに、

学習に取り組んでいます。

今回は、訪問教育の様子をお知らせします。現在、小学部十一名、中学部三名、さらに、増える予定です。賑やかになり、とても活発な活動を展開しています。

中学部では、スクーリングで、体育館で汗を流したり、音楽室でギターの練習をし始めました。病院ではできないことができるのもスクーリングの魅力です。入学したKさん、元気をとりもどし学習を始めたばかり。九月から毎日のように、

ももとの学校に通い出したM君は、教室で学習できる時間がずいぶん増えました。今は、苦手な科目の授業にチャレンジし始めました。それぞれに生き生きできる居場所と時間を増やしています。

小学部では、次々と新しいメンバーが増え、学習発表会の準備に取り組んでいました。Aさんは、手形や足型での作品を仕上げられました。

Nさんは、学習発表会のめくりの習字を立派に仕上げ、日頃の自慢の書道を披露できました。また、Oさんは、めくりの飾りを色紙で、きれいに星や字を作成しました。なかなかの力作です。

Sさん、W君は、本来校の「劇団四季 ジョン万次郎」の演劇鑑賞に参加し、学校へも、試行登校を開始、集団で学習する練習に取り組んでいます。

Kさんは、熱心に勉強に集中して、自分の弱点を補強しています。各自目標を持って、前進あるのみです。

秋の一日万葉人の

「山の辺の道」を歩きました

古代ロマンに誘われて

京都市桃陽病院 院長

中尾安次

連休の日、かねての想いの大和の国の中心、桜井、三輪、巻向を歩きました。

古事記によると、倭建命（やまとたけるのみこと）が景行天皇の命により、東国征討。その帰り、尾張から、伊吹山の神を討ち取るためにお出かけになった。山の神（日本書紀では大蛇）は激しい雹を降らせて、打ち惑わした。病に罹り、ひどく疲れ、歩けなくなつた。故郷の大和国を偲んで詠んだ歌は

倭は 国のまほろば たたなづく 青垣 山隠（こも）れる 倭しうるはし

国偲び歌として、有名。そして三重県鈴鹿市加佐登町辺

りでお隠れになった。三十歳。日本書紀では、倭建命は白鳥となつて、倭国をさして飛んでいかれた。(西暦二二三年)

その大和を歩きたいと常々思つていた。ついに実現。京都から近鉄特急で三十分くらいで大和八木に到着。そこから乗り換え、桜井で降りると四方を山に囲まれ、懐れの大和政権誕生の地です。

空は澄み切つて、青く、高い。四方は青垣の山麓に囲まれ、緑がきれい。桜井の市内は閑散としていた。駅前通りの瀟洒なお寿司屋さんで、先ずはお昼の腹こしらえ、名物三輪そうめんを食べた。細いそうめん、具沢山で、別に盛つてあり、それを肴に生ビール一杯で乾杯。ぶらぶら歩き前としては迂闊であつたが。

JR線で三輪まで行つた。駅の前に標高四六七mの三輪山が円錐形に聳えています。そのふもとには日本最古という大神(おおみわ)神社

が鎮座、鬱蒼とした森の奥にあり、参道を歩く間に、靈気に清められます。手水舎では、型通りに、お手水をして心身を清めます。「大神」は八百万の神々のなかで、特に神様の中の神、つまり「大神」と称せられます。「三輪明神」とも呼ばれます。

御祭神は大己貴神(おおなむちのかみ)(大國主神)です。国土を拓き、もろもろの生活の守護神です。本殿が無く、拝殿の奥にある「三ツ鳥居」を通して、神体山三輪山を拝する、原初の神祀りの形を今に伝えていきます。

この地は古事記の神武天皇(西暦前六五七―五八五年)の巻に早くも登場。大物主神の子どもの伊須氣余理比売(いすけよりひめ)と神武天皇はこの地狭井川のほとりで一夜をおやすみになった。ささ百合が沢山咲いていた。今もそのささ百合が咲くという。

古事記の崇神天皇(西暦前

九七一―三十)の巻には、疫病が大流行した。天皇が神意を問うための床に臥したら、大物主大神が御夢に現れ、「意富多々泥古(おほたたねこ)という人に私を祭らせなさい。」そこで四方に急使を遣わし、尋ねさせたところ河内の国に見つけた。意富多々泥古が言うには「私は大物主大神の子孫です」そこで直ちに意富多々泥古を神主として三輪山に大物主神を齋き祭られた。これにより疫病はすっかりやんで、国内は平定となった。

意富多々泥古が神の子孫と知ったわけは次のとおりである。(以下は三輪山伝説といわれる。)活玉依毘売(いくたまよりひめ)は容姿が美しく、輝くほど。ここに一人の男がいて、姿といい、装いといい比類のない気高い男が夜中に姫のもとに突然訪ねてきた。愛し合つて結婚して、共に暮らしている間に少女は身ごもつた。これを

聞いて娘の父母は、その男の素性を知らうと思つて、娘に教えた。糸巻きの糸を通した針をそつと男の衣に付けておくと、翌朝男は鍵穴から抜け出ていった。辿っていくと三輪山の社に着き、正体は神とわかつた。生まれる子は大物主大神の子とわかつた。糸巻きに糸が三輪残つていたことから、その地を三輪と名づけた。意富多々泥古はその子孫であつた。

い。カロリーを気にして、一個だけ買った。アツアツで美味しかった。「ロマンより餅」か。山の辺の道の途中にはアケビが熟し、歩く人が採つていた。シニア世代を中心とする多くの人が汗をにじませ、行き過ぎる。そのたびに挨拶「こんにちはー」と声かけあう。

大神神社に礼拝、右に歩くと「山の辺の道」に入る。石畳が敷き詰められ、約五十種の薬草が両側に植えられている。山沿いに歩く、コスモスの花、柿の赤色、みかんの黄色、紅葉が黄赤と色鮮やかな道が続く。やがて、小高く展望の良い丘に行き当る。丘から眺めると大和の国が一望のもとに見渡せる。有名な大和3山の耳成山、畝傍山、香久山が並び、前には明日香村が見える。道端で蒸した里芋のお餅を売っていた。珍し

さらに行けば柳本の崇神天皇陵、黒塚古墳に至つたが、二時間も歩き、疲れて断念。JR巻向駅に向かう。崇神天皇陵、黒塚古墳は以前訪れたことがあつた。黒塚古墳は平成十年三角縁神獸鏡が三十三枚も出土し、有名。他には箸墓古墳があり、邪馬台国の女王「卑弥呼」の墓とも言われる。ロマンがかきたてられる。

箸墓古墳は、日本書紀に記述がある。

崇神天皇の姑(おば)、百襲姫命(ももそひめのみこと)は大物主神の妻となつた。しかし、その神は夜だけやつて来

た。不思議に思い、尋ねると明日の朝は櫛箱に入っているように答えた。明けるのを待って櫛箱を開けると、まことに美しい小蛇が入っていた。

驚いて叫んだ。大神は恥じて、たちまち人の形となり、三輪山に登ってしまった。百襲姫命は悔いて、どすんと座り込んだ。そのとき箸で陰部を撞いて死んでしまわれた。その墓を名づけて箸墓という。

他にも、仏教伝来の地、海拓瑠（つば）市（古代最古の市）、相撲神社が並び、柿本人麻呂などの万葉歌碑が道傍に立っている。

万葉集を見ると柿本人麻呂の歌に当地は数多く詠まれている。

ひさかたの天の香具山この夕霞たなびく春立つらしも

巻向くの檜原に立てる春霞おほにし思はばなづみ来めやも

いにしへの人の植ゑけむ杉が枝に霞みたなびく春は来ぬらし

などなど。

余談だが、柿本人麻呂（出生六四五年前後―八世紀初め）は万葉集には約三七〇首収録されている。歌聖と仰がれる。しかし、晩年は不遇で、島根県益田市で官吏として過ごし、没。柿本神社に祭られる。沖合いの島につくられた柿本神社はその後地震で水没した。約二十年前にその遺跡が発見され、話題を呼んだのは記憶に新しい。

シニア世代の私は膝が痛くなり、夜は湿布を貼って、ぐっすり眠った。皆さんもまだの方は是非訪ねてみてください。

11月行事予定

		本 校	訪問教育	国立分教室	京大分教室	医大分教室	二赤分教室
1	水	児童生徒運営委員会		課外学習	課外学習	課外学習	課外学習
3	金	文化の日					
6	月	ALT 来校(10日まで)					
8	水	校外学習		課外学習	課外学習	課外学習	課外学習
9	木	防災訓練(未定)					
10	金	公開講演会(家庭教育学級)					
14	火	野外炊事					
15	水			課外学習	課外学習	課外学習	課外学習
22	水	児童生徒運営委員会		課外学習	課外学習	課外学習	課外学習
23	木	勤労感謝の日					
27	月	健康相談日					
29	水	児童生徒運営委員会		課外学習	課外学習	課外学習	課外学習
30	木				秋のつどい		

12月行事予定

		本 校	訪問教育	国立分教室	京大分教室	医大分教室	二赤分教室
4	月	夜間学習					
6	水	児童生徒運営委員会		課外学習	課外学習	課外学習	課外学習
7	木	夜間学習					
11	月	健康相談日、夜間学習					
13	水	児童生徒運営委員会					
14	木	夜間学習					
19	火	進路懇談会(中3)					
20	水	個人懇談会(午前中授業)		個人懇談会	個人懇談会	個人懇談会	個人懇談会
21	木	個人懇談会(午前中授業)		個人懇談会	個人懇談会	個人懇談会	個人懇談会
22	金	授業終了、集会、大掃除	授業終了	授業終了	授業終了	授業終了	授業終了
23	土	天皇誕生日					
25	月	冬季休業	冬季休業	冬季休業	冬季休業	冬季休業	冬季休業
29	金	学校閉鎖日					